

このたびは、『実践統計学入門』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

読者の皆様には、ご迷惑をお掛けいたしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

2011年11月24日

『実践統計学入門』第2刷 正誤表

※ なお、第1刷につきましては、<http://www.geocities.co.jp/Playtown-Denei/7871/02.html> をご参照下さい。

章	頁	行	誤	正
1	p11	設問1	$SS = \sum (d_i - d)^2 = \sum d_i^2 - (\sum d_m)^2/n$	$SS = \sum (d_i - d_m)^2 = \sum d_i^2 - (\sum d_m)^2/n$
1	p16	囲み欄 下から2行目	数学統計学的に	数理統計学的に
7	p111	式の(9)	変動係数 = $\frac{\sum (x_i - m)^2 / (n-1)}{(\sum x_i / n)}$	変動係数 = $\frac{\sqrt{\sum (x_i - m)^2 / (n-1)}}{\sum x_i / n}$
10	p155	表7 下から6行目 SE(AUC ₁)=の分子 \sqrt{n} 内	AUC ₁ (1-AUC ₁) + (n ₁ -1)(Q ₁ -AUC ₁) + (n ₀ -1)(Q ₂ -AUC ₁ ²) 【第2刷では修正済み】	AUC ₁ (1-AUC ₁) + (n ₁ -1)(Q ₁ -AUC ₁ ²) + (n ₀ -1)(Q ₂ -AUC ₁ ²)
11	p162	下から14行目	1/n・1/m	1/n+1/m
12	p184	下から9行目	「酵素量」が大であるほど生成物も大である	「酵素量(例:図1の触媒量)」が大であるほど生成物も大である
12	p184	下から8行目	「A薬剤はB薬剤よりも低用量で効果がある」 【第2刷では修正済み】	「A薬剤はB薬剤よりも少ない用量で効果がある」
12	p190	式の(5)	$\chi_{MH}^2 = \frac{\frac{[a-(a+b)(a+c)/N]^2}{(a+b)(b+d)(N-(a+b))}}{N^2(N-1)}$	$\chi_{MH}^2 = \frac{[\sum a_i - \{ \sum (a_i+b_i)(a_i+c_i)/N_i \}]^2}{\sum (a_i+b_i)(b_i+d_i)(a_i+c_i)(c_i+d_i)}$ ※ ここで、iの添え字は、第i層
13	p192	診断テストの(3)	上述(1)と同じ。ただし、…	上述(1)と同じ。ただし、…
13	p195	図1の解説	上図がプラセボ投与群、下図が薬剤投与群。	左図がプラセボ投与群、右図が薬剤投与群。
16	p249	下から5行目	$\sigma \rightarrow 大$ になるほどSは横幅がスリムになる	$\sigma \rightarrow 小$ になるほどSは横幅がスリムになる
17	p268	図2	$Z_\alpha = \delta / \sqrt{n}$ $Z_\beta = \delta / \sqrt{n}$	$\lambda = \delta / (\sigma / \sqrt{n})$ $Z_\alpha = \delta_\alpha / (\sigma / \sqrt{n})$ $Z_\beta = \delta_\beta / (\sigma / \sqrt{n})$ $\delta = \delta_\alpha + \delta_\beta$
17	p268	図2の両方の縦軸	-10	0
17	p273	図3	$Z_\alpha = \delta / \sqrt{n}$ $Z_\beta = \delta / \sqrt{n}$	$\lambda = \delta / (\sigma / \sqrt{n})$ $Z_\alpha = \delta_\alpha / (\sigma / \sqrt{n})$ $Z_\beta = \delta_\beta / (\sigma / \sqrt{n})$ $\delta = \delta_\alpha + \delta_\beta$
17	p273	図3の3つの縦軸	-10	0
18	p292	下から10行目	(1)多重比較法に関するパッケージの不備	(1)多重比較法に関するパッケージの未整備
索引	p301	左半分の下から9行目	共変動(covariation) 209, 219	共変動(covariation) 209, 217